



園長だより

NO.36 R8.1.19(Thu)

先々週のInstagramにもアップさせて頂きましたか〜♡

実は職員にも極秘で、地震津波の抜きうち避難訓練を行いました。

ちょうどお昼頃で、給食を食べようとしているクラスや(給食の)準備をしていたクラスなど、それぞれでした。

私の「地震です!!!」の絶叫に、先生達はすぐさま子ども達に身を守ると同時に、頭を守る指示を出しました。その後、揺れがおさまった想定でヘルメットを被って園庭及び更に高いお山へ避難するんですが、この時自分のヘルメットを選定している時間が身を守る妨げになります。誰でもいいのでヘルメットを被っていきました。(勿論、上靴のまま)。お山では迷う事なく担任の元に駆け寄る子ども達。担任がまだ来ていないクラスでは、先に着いた子がサッとクラスの数(例えば3組なら、指を3本掲げても)を指で示し、集まりやすくしてくれていました。

園内の残留児の確認、園舎の被害状況、ガラスの飛散の有無、次の待機場所である遊戯室の倒壊状況の確認、津波到来の有無など、それぞれフリーの職員から報告を受け、園児一人ひとり呼名後、職員の安否も確認し、遊戯室に移動しました。怪物の有無などをこの一連の避難行動が、子ども達も実に迅速に出来ていたんです。

折しも31年前の1月17日は阪神淡路大震災が発生、最近でも鳥取・島根地方、先週は奄美大島・茨城県近海でも地震が発生しました。

ここ静岡県では、南海トラフ地震が叫ばれて久しく、いつ大災害が起こるか分かりません。実際の災害を想定して、「どんな時はどうしたらいいか」と、訓練ごとに反省を重ねています。「自分の命は自分で守る」子ども達にも、そんな自助力と自覚が少しでも持てるよう、そして何より大切な導く子ども達の命を守らなく、これから職員一同訓練を重ね、邁進していきたくと改めて思いました。

